

増刊号 きまぐれ かわら版

2009 US オープン特 集

今年最後のグランドスラム、全米オープンが 8/31 (月) から始まります。全豪、全仏、全英と比べると、イベント色が強く、賑やかで、華やかな大会です。恒例の「優勝者当てクイズ」も行いますので、その前に「全米オープン ~US OPEN~」の様々な情報をまとめてみます。

全米オープンの歴史

男子は 1881 年に、全米シングルス選手権と全米男子ダブルス選手権の第 1 回大会が開催され、女子シングルスがそれから 6 年後の 1887 年に第 1 回大会が、ダブルスについては男子ダブルスと同年の 1881 年、ミックスマックスは 1892 年から開催されました。

初期の全米選手権大会は 5 部門がそれぞれ違う会場で行われていました。(初めから 5 部門があったわけではなかったんですね。) やがて男女シングルの会場がニューヨーク・クイーンズ区の「フォレストヒルズ」に移転し、「フォレストヒルズ」は全米選手権やデビスカップ決勝戦を指す代名詞となり、テニス選手の目標となったそうです。

その後、1968 年からテニス界の「オープン化措置」(プロ選手の 4 大会出場を解禁する措置) が実施されて、現在のような「全米オープン」となりました。

この時から 5 部門すべて同一会場で行われるようになり、1970 年代後半にニューヨーク・クイーンズ区のフラッシング・メドウ(現在の会場の USTA ナショナルテニスセンター)に移転したそうです。

コートサーフェス

全米オープンのコートサーフェスはご存じのとおりハードコートですが、当初フォレストヒルズの時代では芝のコートだったそうで、のちにクレーコートに変わり、現在のフラッシング・メドウになってからハードコートになったそうです。

グランドスラムで 2 度もコートサーフェスが変ったのは全米オープンだけで、同じハードコート(種類は違いますが)の全豪オープンも 1988 年から導入されています。

全米オープンのハードコートは「Deco Turf」という素材で、毎年使用コート全て新しく塗り替えるそうですよ。(う〜ん、有明もそれぐらいやらなきゃ〜)

今大会の見どころ

【男子】フェデラーの 6 連覇を阻止するのは誰だ？

全仏、ウィンブルドンを制し、キャリアグランドスラム獲得数を史上最多の 15 個としたフェデラー。シーズン当初はフェデラーの時代も終わりかと思われましたが、やはり王者は王者でした。全豪こそタイトルを逃すも準優勝して、グランドスラム 3 大会全て決勝に進んでいる王者を止めるのは、怪我から復帰の Nadal か、先週の大会でランキングを 2 位にあげてきたマレーか、ここのところ毎週優勝にからんでいるデルポトロ、地元期待のロディックも見逃せません！

【女子】地元開催のウィリアムズ姉妹が中心？

戦国時代の女子はウィンブルドン覇者のセレナを中心にランキング 1 位のサフィーナ、全仏を制したクズネツォワ、ウィンブルドンでは姉妹対決に敗れたビーナス、サービス改良から安定感抜群のディメンティ

エワ、怪我から復活のシャラポワなど優勝候補を上げるときりがありません。逆に言うと全ての試合が拮抗した素晴らしいものになるということかもしれません。個人的には無冠の女王サフィーナに勝ってほしいところですが……。クルム伊達公子のグランドスラム復帰後初勝利も期待したいところです。

恒例、優勝者当てクイズのお知らせ

2009 最後の優勝者当てクイズとなりました。今回からいろいろな事前情報を掲示しておりますので、じっくり練ってご参加ください。今回も、男女シングルのファイナリスト(決勝進出者)と優勝者を当てていただきます。応募用紙(添付してあります。)に必要事項をご記入の上、フロント前の特設投票箱までお願いいたします。

もちろん今回も見事、正解した方には素敵なプレゼントをご用意しております！

①決勝進出者、優勝者全て正解した方

⇒「特別レッスンチケット(2 回分)」

もしくは、「ガット張り無料券(ガットは 2,000 円代のもの)」

②決勝進出者は当たっているが優勝者がハズれた方

⇒「ガット張り工賃無料券」

以上の2種類が当たりとなります。

「丸田コーチ」による最近の試合データや「齋藤コーチ」による「What's US OPEN」(別紙)も参考にしてください。

氏名	
所属クラス	
男子ファイナリスト ※優勝者に○をつける	
女子ファイナリスト ※優勝者に○をつける	

2009 US OPEN 応募用紙

【締め切り】 9/6 (日) まで。(第1週の結果をCHECK!)